





近江日御

菊是堂



七月之部

乾坤

丁初

文月 立秋 白露 处暑

初秋 残暑 初风 稻黄 初月

花火 七夕 星合 银河 观洗

降 置帘 桐横 龙田形 露

露 秋雨 秋虫 植物ハ 一葉

秋柳 木槿 葦 菊 桔梗

秋草 罌粟 萩 萩 萩

萩 西瓜 野菊 葛 萩

芝 鬼竹 秋花 夜月 草

芋 生類註 虫 蛩虫 蚕

寒虫 冬蟲 蜻蛉 秋蟬 蛸

蕨虫 秋蟬 蛸 蛸 蛸

鹿 山魚 鶴 葉字 以子

衣食註 利情 拾得 門茶 盆月



神歌十九 盆子 魂桐 迎火 送火
墓床 燈籠 切子 高柳 大木子
逆出入

八月之部

乾坤序 華月 八朔 田面 長夜
秋夕 野分 秋暮
月見 月 月 月 月 月 月 月 月
立待 待待 星月 植物序 初紅葉
梅娘 芙蓉 花序 露 露 露 露 露
穗生 尾毛 龍溪 菜畑 藜子
本城前 音多 鳥山 種乳 種茄子
草 松露 鵜川 四刈 干煎
形 生歌序 石 渡島 好書
熊野 梅子 野鳥 河麻

衣食序

砥

石

神祇序

九月之部

乾坤序

羹の目

後の種

宿月

露時雨

秋源

行秋

冬梅

九月

植物序

菓

秋夕

四時

紅葉

栗

櫛の

紅葉

梅の葉

梅の葉

柿

智の

紅葉

栗

柿

柿

生類序

紅葉

含歌丁

抽の

秋暮

神祇序

秋夕

信非

雜の

十月之部

乾坤序

小出

亥子

時雨

初冬

采

初雪

初霜

初雪

冬

冬梅

初雪

巨燈

霜

雪

水

寒

初雪

自然

冬

成山

切方

小舟

小舟

湯

秋 社園 植物評 落葉 木葉

春の心 山草 湯心 山の物 枯柳

北極星 冬牡丹 菊指 枯花 菊指

枯竹 石燈籠 春舟 莖 大根

冬草立 水仙 寒草 枯所 葱

生敷評 水鳥 生漬 水鳥 心

浮島 鴉 子鳥 鴛鴦 心

紫漬 細代舟 衣食評 干菜 飯汁

隱中 舟子 衾 神秋評 豆

建海志 十夜 毒毒

十一月之部

乾坤評 冬草 枯 雪子 霰

凍 水柱 霜柱 生類評 吸子

倉敷評 子酒 神秋評 餅如 神樂

十二月之部

乾坤評 夏夏 夏月 植物評 冬梅 冬梅

梅柳 冬梅 倉敷評 茶心 神秋評

寒露 獵八 寒露評 師走 事初

梅端 雁鴉 雁花 雁尾 節分

巨舟 舟志 舟市 衣死 年忌

出待 出候 年暮 行年 舟

方寸 擲丸 周見 梅拍 雜

名所地名之部

山城評 東山 鞍馬 園崎 嵯峨

醍醐 木也所 清水 日枝 宇治

加茂 舟田 嵐山 通天橋 深川

都 舟田 伏見 東寺 鳥羽

四條河原 島原 笠置 太秦 八幡

大和評 吉野 野洲 多岐路 初瀬

六田 南都 毒坂 河内評 三

詞壇

およびついでに... 園中
 一... 鼎唱
 ... 文山
 ... 家信
 ... 樹石
 ... 太乙
 ... 龍吟
 ... 一東
 ... 惟子
 ... 豊子
 ... 乙子
 ... 台池
 ... 橋上

龍吟

露

... 松海
 ... 志也
 ... 意池
 ... 流芝
 ... 也了
 ... 杜鰲
 ... 玉帝
 ... 石介
 ... 悠平
 ... 月平
 ... 泰山
 ... 文景
 ... 雲子
 ... 阮兵
 ... 物賦
 ... 事外

花のよみ結して花をぬらむ 世の
 風をぬらむのよみぬらむ 夢一
 波をぬらむのよみぬらむ 一葉
 舟をぬらむのよみぬらむ 悠々
 人ぬらむのよみぬらむ 素直
 流したるぬらむのよみぬらむ 梅雪
 華をぬらむのよみぬらむ 物陰
 山をぬらむのよみぬらむ 鳥さ
 花をぬらむのよみぬらむ 西
 七色のぬらむのよみぬらむ 風樓
 義をぬらむのよみぬらむ 閑令
 心ぬらむのよみぬらむ 職名
 海に身をぬらむのよみぬらむ 阪山
 六色のぬらむのよみぬらむ 長州
 心ぬらむのよみぬらむ 石巻
 心ぬらむのよみぬらむ 世をぬらむ

漫

景

花のよみ結して花をぬらむ 世の
 一万余花をぬらむのよみぬらむ 蘭香
 森をぬらむのよみぬらむ 社海
 舟をぬらむのよみぬらむ 名池
 汐風をぬらむのよみぬらむ 琴丸
 現うして世のよみぬらむ 白鳥
 花をぬらむのよみぬらむ 岳陰
 舟をぬらむのよみぬらむ 船山
 波をぬらむのよみぬらむ 素直
 石をぬらむのよみぬらむ 鳥さ
 花をぬらむのよみぬらむ 西
 七色のぬらむのよみぬらむ 風樓
 義をぬらむのよみぬらむ 閑令
 心ぬらむのよみぬらむ 職名
 海に身をぬらむのよみぬらむ 阪山
 六色のぬらむのよみぬらむ 長州
 心ぬらむのよみぬらむ 石巻
 心ぬらむのよみぬらむ 世をぬらむ

鳥居

鳥居

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居

鳥居

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

鳥居や佐相のりし鳥居の

鳥居やいふまじりてはつと

喜多川の... 一丸
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川
... 喜多川

五月

五月廿七日 中野 古塚 園林
 五月廿八日 中野 古塚 園林
 五月廿九日 中野 古塚 園林
 五月三十日 中野 古塚 園林
 六月一日 中野 古塚 園林
 六月二日 中野 古塚 園林
 六月三日 中野 古塚 園林
 六月四日 中野 古塚 園林
 六月五日 中野 古塚 園林
 六月六日 中野 古塚 園林
 六月七日 中野 古塚 園林
 六月八日 中野 古塚 園林
 六月九日 中野 古塚 園林
 六月十日 中野 古塚 園林
 六月十一日 中野 古塚 園林
 六月十二日 中野 古塚 園林
 六月十三日 中野 古塚 園林
 六月十四日 中野 古塚 園林
 六月十五日 中野 古塚 園林
 六月十六日 中野 古塚 園林
 六月十七日 中野 古塚 園林
 六月十八日 中野 古塚 園林
 六月十九日 中野 古塚 園林
 六月二十日 中野 古塚 園林
 六月二十一日 中野 古塚 園林
 六月二十二日 中野 古塚 園林
 六月二十三日 中野 古塚 園林
 六月二十四日 中野 古塚 園林
 六月二十五日 中野 古塚 園林
 六月二十六日 中野 古塚 園林
 六月二十七日 中野 古塚 園林
 六月二十八日 中野 古塚 園林
 六月二十九日 中野 古塚 園林
 六月三十日 中野 古塚 園林

五月廿七日 中野 古塚 園林
 五月廿八日 中野 古塚 園林
 五月廿九日 中野 古塚 園林
 五月三十日 中野 古塚 園林
 六月一日 中野 古塚 園林
 六月二日 中野 古塚 園林
 六月三日 中野 古塚 園林
 六月四日 中野 古塚 園林
 六月五日 中野 古塚 園林
 六月六日 中野 古塚 園林
 六月七日 中野 古塚 園林
 六月八日 中野 古塚 園林
 六月九日 中野 古塚 園林
 六月十日 中野 古塚 園林
 六月十一日 中野 古塚 園林
 六月十二日 中野 古塚 園林
 六月十三日 中野 古塚 園林
 六月十四日 中野 古塚 園林
 六月十五日 中野 古塚 園林
 六月十六日 中野 古塚 園林
 六月十七日 中野 古塚 園林
 六月十八日 中野 古塚 園林
 六月十九日 中野 古塚 園林
 六月二十日 中野 古塚 園林
 六月二十一日 中野 古塚 園林
 六月二十二日 中野 古塚 園林
 六月二十三日 中野 古塚 園林
 六月二十四日 中野 古塚 園林
 六月二十五日 中野 古塚 園林
 六月二十六日 中野 古塚 園林
 六月二十七日 中野 古塚 園林
 六月二十八日 中野 古塚 園林
 六月二十九日 中野 古塚 園林
 六月三十日 中野 古塚 園林

飛

飛鷹やまをたもつての紙
海邊やまうし一葉の山のは
何れもたもつての紙
ふくたもつての紙

葉

葉二種と煙つた葉の紙
紙の葉やまをたもつての紙
種まてつた葉の紙

本

本所の葉の紙
紙の葉やまをたもつての紙
紙の葉やまをたもつての紙

鳥

鳥の葉やまをたもつての紙
紙の葉やまをたもつての紙
紙の葉やまをたもつての紙

種

種鳥の葉やまをたもつての紙
種鳥の葉やまをたもつての紙
種鳥の葉やまをたもつての紙

草

草の葉やまをたもつての紙
草の葉やまをたもつての紙
草の葉やまをたもつての紙

松

松の葉やまをたもつての紙
松の葉やまをたもつての紙
松の葉やまをたもつての紙

婦科

至地外婦科... 月

婦科... 月

婦科... 月

田科

田科... 月

田科... 月

子科

子科... 月

子科... 月

子科... 月

子科... 月

子科... 月

子科... 月

子科... 月

世世之部

馬

馬... 月

馬... 月

馬... 月



一... 月

二... 月

三... 月

四... 月

五... 月

六... 月

七... 月

八... 月

九... 月

十... 月

十一... 月

十二... 月

十三... 月

十四... 月

十五... 月

十六... 月

神一ありらるる神の宮にふ 鳥魚
神居る早の山にや山の陰 得雅
尾の事多しや約神 かな
尾の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

生類之部

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

神類之部

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

神減之部

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

雑之部

神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一
神の事多しや約神の山 等一

信神

河内山... 聖徳
 竹の山 文豪
 秋の山 松海
 見外
 孝石
 世宗
 乙翁

秋と部終

十月 乾坤之部

十月 九祀
 十月 柏樹
 十月 芥舎
 十月 松海
 十月 此松
 十月 不取
 十月 乙翁
 十月 昂左
 十月 徳道
 十月 崑山
 十月 白雲
 十月 志石
 十月 光林
 十月 松雲

小島

初雪
 雪のちかちかきや海の音 葉相
 雪のちかちかきや海の音 悠々
 雪のちかちかきや海の音 夫村
 雪のちかちかきや海の音 月坡
 雪のちかちかきや海の音 日新
 雪のちかちかきや海の音 定家
 雪のちかちかきや海の音 宗郷
 雪のちかちかきや海の音 幸光
 雪のちかちかきや海の音 柳也
 雪のちかちかきや海の音 清中
 雪のちかちかきや海の音 宗高
 雪のちかちかきや海の音 高月
 雪のちかちかきや海の音 又宗
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光

知水
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光

冬花
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光

冬花
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光
 雪のちかちかきや海の音 景光

我乃小ヤリ川名を以て飯付 此の
 神棚より一ししを飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

頭巾

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

衾

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

最

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

十夜

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

冬

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

冬

乃其儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の
 儀を以て所を以て飯付 此の

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

信排

すはふ川に流るる水は 針形
てはふ川に流るる水は 針形
のしほふ流るる水は 針形
すはふ川に流るる水は 針形

研井 研井のまきくちをたれしるる 石龍

赤前 赤前山や山崎のこころの音 風銅

清水 清水のやうな船のちのちの音 鼎左

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎 山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前 赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水 清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝 日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流 身流のまきくちをたれしるる 月枝

通橋

近川

近川のまきくちをたれしるる 身流

赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤前のまきくちをたれしるる 一沈

清水のまきくちをたれしるる 身流

日枝のまきくちをたれしるる 一沈

身流のまきくちをたれしるる 月枝

山崎のまきくちをたれしるる 身流

赤田

赤田のまきくちをたれしるる 身流

若くは河内を所りて三笠山 柳一
 ちれは地出せしむる武蔵 具を
 油洲 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 六田 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 南都 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 新所 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 在引 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 有る 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 貴面 若くは河内を所りて三笠山 柳一

河内

若くは河内を所りて三笠山 柳一

攝津

後吉 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一

若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一

柳

若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一
 若くは河内を所りて三笠山 柳一

新印の事書海 神の森 二

中野

京都 石巻の風くふは新うし中 南校
皇朝 臨川の秋や節月のまじり 皇

奥津

自算 初をせりのまはる 協榮

このころのまはるのまはる 協榮
北のまはるのまはるのまはる 協榮
南のまはるのまはるのまはる 協榮

信濃

信濃 初をせりのまはる 協榮
北のまはるのまはるのまはる 協榮
南のまはるのまはるのまはる 協榮

協榮

物まのまはるのまはるのまはる 協榮
初をせりのまはるのまはる 協榮

大

多のまはるのまはるのまはる 協榮

初のおやばりまはるのまはる 協榮

北のまはるのまはるのまはる 協榮
南のまはるのまはるのまはる 協榮

初のおやばりまはるのまはる 協榮
北のまはるのまはるのまはる 協榮

北のまはるのまはるのまはる 協榮
南のまはるのまはるのまはる 協榮

信濃

信濃 初をせりのまはる 協榮
北のまはるのまはるのまはる 協榮

安藤

初をせりのまはるのまはる 協榮
北のまはるのまはるのまはる 協榮

五月廿三日 福屋忠兵衛 謹啓

一昨に於ては 洗心寺にて 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り

侍 啓

知山 家々 公家 公家 公家 公家
井 院 院 院 院

此書は 御座り 御座り 御座り 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り



麦穂舎梅室 謹啓
菊 山 友 人

明題林花集

小本二冊

見抄左自撰勺集

迎刻

此書は 御座り 御座り 御座り 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り
御座り 御座り 御座り 御座り

嘉永四年 庚午正月吉日

江戸本町十軒店

發行

莫 大 助

尾州名古屋中町通七丁目

永樂庵東四郎

大板北入宝寺町心林橋

河内屋源七郎

同本町心林橋

鹽屋彌七

同北久太島町心林橋

鹽屋忠兵衛

書肆

